

総合的な学習の時間指導演

平成20年11月17日(月)第5校時

3年1組

授業の視点

体験を通して得た個々の気付きや疑問点についてグループで分類・整理したものをもとに課題を作る際に、視点を提示し、友達と話し合ったり考えさせたりする活動を取り入れたことは、課題について考える力を身に付けさせるのに有効であったか

単元名 ふるさとのこんにゃくたんけんたい

考察

1 児童の実態(略)

2 単元について(略)

3 校内研修との関連

- ・地域の人々との関わりをもった豊かな体験活動を設定して、学ぶ楽しさを実感させ、児童が進んで問題解決に取り組めるようにする。
- ・「考える力を育てるために」、単元の学習過程を「ふれる・つかむ」「追究する」「まとめる」「生かす・広げる」とする。また、各過程において以下のような手立てを取り入れていく。「ふれる・つかむ」のところでは、課題作りのために共通の体験活動を設定する。「追究する」のところでは、考えを広げたり深めたりするために他者との交流活動を設定する。「まとめる」のところでは、結果を整理・分析し効果的な表現方法で分かりやすく伝えることができるよう、児童相互の交流の場を設定する。「生かす・広げる」のところでは、自己の生活と関連づけて考えることができるよう、取り組みや自己を振り返る場の設定をする。
- ・学習過程ごとに 調査・体験活動とふり返し活動を繰り返す単元構成にすることにより、児童の思いや考えを深めていく。
- ・活動後には、学習シートに振り返って書く活動を取り入れ、気付きや発見、疑問など自分の考えがもてるようにする。

4 指導の方針及び学習活動の支援

- ・本単元では、見学・調査の時など地域の人との関わりが多いので、地域の人と温かいふれ合いが体験で

きるように、礼儀正しくすることやインタビューの仕方を事前に指導しておく。

- ・各教科で学んだ知識・技能を活用していくために、関連する教科の学習を想起させたり、授業で使った資料を提示したりして考えさせていきたい。また、調べていく中でこんにやくを作る人の工夫や努力、人間としての温かさ、自分が住んでいる地域のよさなど、気づいたことを他教科や道徳のねらいを達成することにも生かしていきたい。
- ・「ふれる・つかむ」過程では、課題発見をしたり課題につながる感想をもったりするように、児童の意識を想定した上での意図的な農作業や畑の見学を行い、活動を振り返り課題について考えることができるようにする。
- ・課題をもつまでの一人一人の思いや考えを大切にしながら、賞賛や共感の言葉がけや助言を行う。
- ・課題設定では、ワークショップを取り入れていく。その際に、課題についてじっくり考えられるように、児童一人一人がもった気付きや疑問についてなぜそのよう思ったり考えたりしたのか理由を書かせるようにする。また、それらの気付きや疑問を付箋カードに書いて、グループ全体で話し合い、分類・まとめをしていく。また、国語で学習した『「分類」ということ』を活用する。
- ・国語の単元『大事なことをたしかめよう』の中の「本で調べる」の学習を生かして調べ学習ができるようにする。
- ・活動の中で、児童がこんにやくに関する資料を集めてくるが、内容を理解するのが難しい場合には、国語辞典を活用させたり、教師が相談にのったりするなどの支援を行い、調べたことを自分の言葉で表現できるようにする。
- ・計画を立てたり、見学・調査をしたりしたときは、大事なことを記録できるように、学習シートを使用する。また、体験・調査後も学習を振り返って、よりよい活動を考えたり、課題に対する自分の考えを深めていけるように、感想（考えたこと・気づいたこと・疑問に思ったこと等）が書ける学習シートを使用する。資料や学習シートは、ファイルに綴じて、後で見直しやすいように保存しておく。
- ・必要に応じてグループや全体での学び合い活動を取り入れて、自他の良い点に気づかせ、考えを広げたり深めたりできるようにしていきたい。
- ・こんにやくの栄養についてより深く理解できるように、学校栄養士とのTTで、学級活動の時間に指導を行う。
- ・調べたことをまとめる際には、これまでの表現方法を振り返らせたり、昨年度の3年生の作品を提示したりして、効果的な方法が選べるようにする。

本時の学習。

(1) ねらい

体験を通して得た個々の気付きや疑問点についてグループで分類・整理したものをもとに、友達と意見交流しながら課題について考えることができる。

(2) 準備

- ・小見出しカード
- ・学習シート
- ・課題作りの視点
- ・こんにやく芋
- ・体験活動時の写真
- ・色別シール
- ・模造紙（個々の気付きや疑問点についてグループで分類・整理したもの）

(3) 展開

おおむね満足 十分満足

過程	学 習 活 動	支援及び指導上の留意点	時間	評価項目
つかむ	<p>1. 前時までの活動を思い起こし本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「これから調べてみたいことややってみたいこと」をみんなで考え、学級全体の課題を決めよう</p> </div>	<p>本時は前時にグループで分類・整理したものをもとに共通の課題を考えていくことを知らせる。</p>	5分	
追究する	<p>2. グループで分類したものをもとに学級全体の課題を作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループから出された小見出しを見て、同じもの同士をまとめる。 ・小見出しを見ながら調べたい理由を発表する。 ・グループごとに課題作りの視点「たんけんたいの合い言葉」に沿って話し合いながら課題を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【たんけんたいの合い言葉】 協力し合う 体験してみよう</p> </div>	<p>T 2 : グループから出された小見出しを短冊に書いておき、黒板に掲示する。</p> <p>T 1 : 児童の考えをまとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験時の写真やこんにやく玉の実物を提示したり、学習シートを読み直しさせたりして、どうしてそのことを追究したいのかなどの思いを明らかにさせ、考えを深めさせたい。 ・前時にグループでまとめた模造紙（小見出し）を見ながら考えさせる。 ・課題作りの視点「たんけんたいの合い言葉」を提示し、それと照らし合わせながら、それぞれの小見出しが妥当であるかどうかについて話し合わせていく。 ・課題が視点にあっているかどうか個々に 	30分	<p>視点に沿って話し合いながら課題について考えている。（発表・カード）</p> <p>活動の見通しをもって具体的な理由を明らか</p>

<p>調べてみよう</p> <p>《予想されるグループの姿》</p> <p>活動の見通しをもって具体的な理由を明らかにし、視点に沿って課題を考えることができる。</p> <p>視点に沿って話し合いながら課題を考えることができる。</p> <p>視点に沿って課題についてあまり具体的に考えることができない。</p>	<p>カードに自分の考えを書かせてから、話し合いをさせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題作りの視点「たんけんたいの合い言葉」にあてはまる小見出しには色別シールを貼るようにさせる。 <p>T 1・T 2：グループごとの学習状況を見取り必要な支援を行う。</p> <p>《グループへの支援》</p> <p>自分たちの考えをみんなの前で発表できるようにメモをさせ、話の組み立てを考えさせる。</p> <p>前単元での調べ方を想起させ追究の見通しをもたせるようにする。</p> <p>視点の内容を捉えさせるために前単元での調べ方を想起させる。また、吟味が足りないものについては、教師が指摘して、再度考え直すような声かけを行う。</p>	<p>にし、視点に沿って話し合いながら課題について考えている。</p> <p>(発表・カード)</p>
<p>3. グループで考えた小課題を発表し合う。</p> <p>予想される児童の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃく芋の育て方 ・こんにゃくの種類 ・作る人の苦勞や工夫 ・こんにゃくの作り方 ・栄養・料理の種類 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで考えた小課題と理由を発表させる。 <p>T 1：グループで発表されたことを黒板に整理してまとめていくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出された意見が他のグループにも共通していないか考えさせて児童の意見をつないでいく。 ・自分たちのグループが出さなかった課題についても考えて意見を出すよう助言する。 <p>T 2：見取ったことをもとに発言を促す支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のことを聞いたり、話し合ったりしていく中で、自分の考えを改めて見つめ直させ課題について考えさせる。 	<p>20分</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・整理された板書を見て学級全体の課題を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんにゃくいもやその育て方のひみつを調べよう。」「こんにゃくいもを作る人の工夫や努力について調べよう。」にまとめられるようにしたい。 ・一人一人の思いや考えが集まった課題であることを認識させ追究への意欲をもたせるようにする。 		
ま と め る	4 . 今日学習の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シートに本時の課題作りについての感想を書かせ、取り組んでみたいことを確認し、次時への意欲付けを図る。 	5 分	